

A L P S 処理水の海洋放出に関する I A E A 規制レビュー会合（第 2 回）の概要

令和 5 年 1 月 2 5 日
原子力規制庁

1. 趣旨

本議題は、令和 3 年 7 月の日本政府と国際原子力機関（I A E A）との間での取決め¹に基づき行うこととされた、A L P S 処理水の海洋放出に関する I A E A 規制レビューの第 2 回会合が実施されたことから、その概要について報告するものである。

2. I A E A 規制レビュー第 2 回会合の概要

(1) 実施期間 令和 5 年 1 月 1 6 日（月）～1 月 2 0 日（金）

(2) 場所 原子力規制委員会 1 3 階会議室

(3) 参加者

I A E A レビューチーム

グスタボ・カルーソ調整官 他 I A E A 職員 5 名

各国からの専門家 1 1 名

原子力規制委員会

山中委員長、伴委員、森下長官官房審議官 他 2 2 名

環境省

2 名

(4) 会合の内容

A L P S 処理水の海洋放出に関する実施計画の変更認可申請に係る審査・確認及び実施計画検査における進捗と第 1 回会合の際に I A E A から推奨された事項に対する回答について原子力規制委員会より説明し、I A E A 安全基準に照らした確認が行われるとともに意見交換を行った。

主な議題は、第 1 回会合に引き続き以下のとおり。

- ・ 政府の責任と役割
- ・ 放出の規制に関する主な考え方
- ・ 規制のプロセス
- ・ 放射線環境影響評価
- ・ ソースモニタリング及び環境モニタリング

¹ 多核種除去設備等処理水の取扱いに係る包括的な協力の枠組みに関する付託事項
“IAEA Assistance to Japan on Reviews of Safety Aspects of Handling ALPS-Treated Water at TEPCO’s Fukushima Daiichi Nuclear Power Station (Terms of Reference 8 July 2021)”

・外部とのコミュニケーション

また、1月17日(火)には、IAEAレビューチームの5名が東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所を訪問し、原子力規制庁が実施した使用前検査に立ち会うとともに、ALPS処理水海洋放出関連設備の設置状況を視察した。

3. 今後の予定

IAEAレビューチームから、今回の会合の議論で得られた所見をもとに、3か月程度で報告書にまとめるとの方針が示された。